人権教育資料センター　人権教育ビデオ一覧（人権課題「北朝鮮による拉致問題」）　　＊■色は令和２年度選定　　令和３年４月現在

記号		ビデオ(DVD)名 ※（DVD）の表記のないものは、すべてVHS（ビデオテープ）です。	企画・制作	時間	人権課題等																	対象							活用例	種別	字幕	内容	購入年度	備考
					女性	子供	高齢者	障害者	同和問題	アイヌの人々	外国人	HIV感染者・ハンセン病患者等	犯罪被害者やその家族	インターネットによる人権侵害	北朝鮮による拉致問題	災害に伴う人権問題	ハラスメント	性同一性障害者	性的指向	路上生活者	様々な人権課題	その他	幼児	小1・2・3年	小4・5・6年	中学生	高校生	大学生・一般	教職員	保護者						
き	24	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ　めぐみ（DVD）	政府　拉致問題対策本部	25分											○										○	○	○	○	○	○	ドキュメンタリー・アニメ	なし	昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメです。	23	人権教育プログラム（平成23年3月）73ページ
き	25																																
き	26														○																			
き	27																																
き	28																																
た	22	「ただいま」～の声を聞くために～(DVD)	東映株式会社株式会社	33分											○										○	○	○	○			ドキュメンタリー	なし	1977年11月15日午後6時30分頃、バトミントンの部活を終え帰宅途中の中学一年生の女の子が家まで、あと3分くらいのところで消えてしましました。家族はもちろん、友達も警察もなぜかと不思議に思いました。女の子の名前は横田めぐみ。いなくなってから20年北朝鮮に拉致されたことが判明。大切に大切に育てた娘をずっと愛し続けて「家族のもとに返して」と叫ぶ、父と母の物語です。	R2	
ほ	25～34	Voice!!!（ボイス） 人権の教室	東京都教育委員会	38分		○									○						○				○	○	○	○	○		○	ドラマ	あり	この教材は、ボイス＝声を出すこと、声を受けとること。その大切さを伝えていきます。舞台は、休日の学校で開かれる「人権の教室」。招待状で招かれた３人の中学生・高校生が「声」を手掛かりに、３つの人権のテーマについて学んでいきます。一人一人が声を受け取り、声を上げることができるようボイスを上げていきたいと考えています。 内容〇オリンピック・パラリンピックと人権〇北朝鮮による拉致問題〇子供の人権（いじめ問題）	29	
ら	4	拉致～許されざる行為～ 北朝鮮による日本人拉致の悲劇（DVD）	日本国政府拉致問題対策本部	21分											○									○	○	○	○	○	○		ドキュメンタリー解説	なし	北朝鮮による日本人拉致問題に対して、これまでの経過と日本政府及び拉致被害者家族会の取組について解説されています。本編（２０分３６秒）とダイジェスト編（７分５３秒）が収められています。	19	
ら	5	拉致　私たちは何故、気付かなかったのか！（DVD）	「拉致　私たちは何故、気付かなかったのか！」製作委員会	34分											○												○				ドキュメンタリー	なし	1970年後半、地域社会のコミュニティーが徐々に薄れ始めた頃、その隙間を縫うかのように、北朝鮮による拉致事件が発生しました。この拉致問題は、人と人との繋がり、縁が希薄になった現代社会の透視図です。	23	